



## 高齢者講習のお知らせハガキが届いていませんか？

70歳以上の方が運転免許を更新する際に受けていただく高齢者講習は、県内11校の指定自動車学校で行っています。

時期によっては、混雑する場合がありますので、お知らせのハガキが届いたらすぐにお近くの自動車学校に電話をして、講習の予約をしてください。

問い合わせ 運転免許センター 講習担当係  
電話 893-1221



## 南海トラフ地震に備えよう!!

### ◎火災から身を守る

地震・津波発生時には、消防がすぐに消火対応できない場合が想定されますので、火災を発生させないことが重要です。

また、火災が発生した場合は、消火器などで火が小さいうちに消火し、身の危険を感じたら安全な場所に避難しましょう。

### ◎阪神・淡路大震災の火災（平成7年1月17日）

地震発生直後から各地域において同時に約300件もの火災が起こり、特に神戸市内は大きな被害を受けました。

### ◎東日本大震災の火災（平成23年3月11日）

東日本大震災による火災は、宮城県、岩手県、茨城県、東京都など広範囲にわたり300件以上発生しました。

## 子どもを水の事故から守ろう



いよいよ、水に親しむシーズンとなり、海や川などで子どもたちの水遊びが盛んになってきます。

例年、この時期には、子どもたちの痛ましい水の事故が多くなることから、警察では7月と8月の2か月間を「夏期における水難防止期間」として、子どもを水の事故から守る活動を行います。

今年も子どもを痛ましい水の事故から守るため、次の点に注意してください。

### ◎水の怖さの再確認を！

本格的な水のシーズンを迎える前に、家庭や学校等で水の怖さについて話し合い、危険な場所での水泳や水遊びなど、してはいけないことを再確認させてください。

### ◎危険な場所の点検を！

流れの速い場所や急に深くなっている場所、転落しやすい場所など、子どもの水難を誘発する危険な場所がないか、身近な水辺の点検をお願いします。

### ◎子どもだけでの水遊びには注意を！

海や川などで、子どもだけで水遊びをしている場合は危険ですので、声をかけてやめさせましょう。

### ◎ライフジャケットの着用を！

釣りやボート遊びなどで水に入るときは、ライフジャケットを着用し、ウォーターシューズなど濡れてもかまわない、脱げない靴を履くようにしましょう。（ビーチサンダルは脱げて危険！）

### ◎幼児から目を話さない

保護者が同伴していても油断せず、幼児から絶対に目を離さないようにしましょう。

危険な場所や危険な水遊びについてお気付きのことがあれば、お気軽に土佐警察署、いの警察庁舎、駐在所又はパトロール中の警察官に連絡してください。  
痛ましい水の事故から子どもを守るために地域の皆様のご協力をお願いします。

## 中学生の職場体験学習について

5月19日～21日の間、伊野中学校の3年生2名が、いの警察庁舎で職場体験学習を行いました。中学生は保育園での交通安全教室、県民交通安全日の街頭指導や水難救助訓練などの警察の仕事を経験しました。

3日間お疲れさまでした。是非、将来は警察官を目指してください。

